

人権と福祉			科目コード	AH1049
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
1	S(講義)	1年以上	田中 治和	



■スクーリングで学んでほしいこと

人権や福祉という言葉（用語）は、比較的世の中で語られ、聞かされ、その大切さは、多くの人々が認めるところです。特に福祉系学部・学科では、人権は重要なキーワードであり、社会福祉実践の根源には、《人権》があり、人権の具体的形態の一つに《福祉》があるといえましょう。

そこで、このスクーリングでは、《人権と福祉》という枠組みで、社会福祉学を学ぶ方々—社会福祉専門職を目指すか否かを一切問わず、社会福祉の本質を考究する入口・手掛かりとして、人権と福祉的諸課題（要介護・“しょうがい”・貧困）とを関連しながら講義します。また併せて、それへの感想等について、受講者がゆっくりと考え、話し合える場となればと考えております。

■到達目標

- 1) 人権と福祉の基本的事項について説明できる。
- 2) 社会福祉実践と社会福祉学研究の根源的課題の基本的枠組みが説明できる。
- 3) 社会福祉学をより深く学びたいと思う。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	人権と福祉の言葉（用語）の整理	世界人権宣言等の概説、並びに福祉と社会福祉の概念整理する。
2	要介護の課題からの考察	高齢者の要介護の文献を講読し、介護する根拠と意味についての文献を講読します。
3	同上	上記の内容について、少人数で話し合います。
4	“しょうがい”の課題からの考察	“しょうがい”の言葉を吟味し、人間の在り方についての文献を講読します。
5	同上	上記の内容について、少人数で話し合います。
6	貧困の課題からの考察	路上生活者の事例から貧困概念を再吟味し、自立に関する文献を講読します。
7	同上	上記の内容について、少人数で話し合います。
8	まとめ	人間のいのち、及び生きる意味から、人間と福祉を問いかけることの大切さを考察します。
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

講義内容に書きましたように、配布された文献を講読しながら進めます。

また話し合いは、少人数のグループから担当教員や全体に対して、各グループごとの発表・報告を求めることはありません。但し担当教員が、各グループを巡回しながら質問等を受けたいと思います。

■スクーリング 評価基準

試験100%です。試験に、自筆ノート、配布資料等一切持ち込み可とします。

■スクーリング時の教科書

教科書は使用しません。スクーリング時に資料を配布します。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

特に必要ありません。もし可能ならばご自分なりの人権と福祉についての考えをまとめておいてください。（スクーリング時に、担当教員から受講者に対して「どう考えていますか…」等の個別적인問いかけはしません。）

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

スクーリング時に、文献紹介をしますので、良かったら読んでみてください。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「他者への関心と理解」「社会への関心と理解」を身につけてほしい。

■参考図書

スクーリング時に、適宜紹介します。